

## 近況報告など

第3期 OB 横山 嵩

今年も、就職活動のためのOB訪問を受ける時期がやってきました。ここ数年、毎年それなりの数の学生に会って話をしていますが、やはり思い出すのは自分の学生時代（就活時）であり、それにつられてゼミのことを思い出します。現役生に色々話を聞くと、当時とは色々状況が異なる所もあるようですが、基本的にはあまり変わらないようですね。

さて、就職活動とは少し違うのですが、先日、来期10期の入ゼミのためのオープンゼミにご招待いただき、少し喋らせていただきました。オープンゼミという事で、普段よりもさらに人数の多くなったゼミの教室は熱気が漂っていて、相変わらずだなあという懐かしさと同時に、どこか安堵も感じました。



著者近影



オープンゼミで講演を行う著者

2年生に対して話す時間が近づくにつれ、柄にも無く緊張してしまいましたが、自分の直前に同じく話をすることになっていた7期氏田君が自分を上回る位に緊張していたので、それを見て多少和みました。そういえば昔、自分の入ゼミ試験の先生面接の際も、自分の直前の受験生（後の電通論文代表）が尋常じゃなく緊張しており、それを見てだいぶ緊張が和らいだ事があったなあ、なんてことも思い出されました。

今回のお話では、小野ゼミで活動すること（の意義）を社会人となった立場から話して欲しいというテーマをいただいていたため、ゼミ活動が今の自分にとってどういう価値があったのか、社会人になって改めて考えるいい機会にもなり、ご招待いただいたことを感謝しています。お話した内容についての詳細は省きますが、今になって振り返れば、ゼミ活動で得たマーケティングの知識や考え方のフレームワークなど、確かに役に立っていることは間違いないですが、それ以上に自分はゼミにおいて人間としての力量（こう言うとやや大げさですけど）を磨くことができたのではないかと感じています。上手く言えませんが、逆境に於いての突破力、状況推移の推測力や人を巻き込んでいく力、ディスカッションにおける論理力など、そういった単なる知識として得るものではない何かを得られたような気がしてなりません。この気持ちが少しでも2年生に伝わればと願いつつ、精一杯お話をさせていただきました（果たして伝わったかは分からないですが…）。自分のお話の効果はともかく、入ゼミ担当の現役生は色々工夫をこらして募集活動をしているようなので、来年度もすばらしい後輩たちが加わってくれることを今から楽しみにしています。

さて、ここからは少し自分の近況を報告させてください。昨年、仕事については大きく動きがあった1年でした。昨年の寄稿では、それまでのICカードのサービス開発担当からグループ会社の経営管理担当となった、と書かせていただいた記憶がありますが、その後、突然4月に異動となり、現在は小売関連の新しい事業の立ち上げを行っています。会社管理を数年やっていくつもりであった中での急な異動で当初は戸惑いもありましたが、今では一から事業を立ち上げる面白さに完全にはまっています。現状分析からのターゲティングとブランディング、商品開発・MD、プロモーションからシステム設計・開発、物流網の設計・構築まで、まさに何も無い状況から川上から川下までを全てを一気に立案・設計できるチャンスというのは中々ないものですし、その事業の成否を自分のパフォーマンスが左右する状況に巡り合えたことにとっても感謝しています。課長と自分の2名から始まった事業でしたが、月を追うごとにメンバーも増え、企画が実現に向けて動いていることを実感できています。まさに今の状況は真剣勝負でケースメソッドやっているようなものなのかもしれません。自分が現役の時、考えることは考えても、いまひとつリアルティが無かったのですが、実際直面するとその幅広さとボリュームの膨大さに呆然となりそうになるシーンもあります。頭では順序ややり方を理解していても、実際に全てを構築するプロセスを進めていくことがいかに難しいかという事を、今、身をもって体験しています。事業スタートした暁には、ゼミのケースメソッドの題材にさせていただいてもいいかもしれませんね。（ただ、実際に実現した企画以上の提案が出て自分が回む可能性は十二分にあるかもしれませんが・・・）

趣味の方では、昨年、小型船舶免許1級を取得し、月1度程度、仲間と船を操船しながら海釣りを楽しんでます。岸边からの釣りに比べて釣れる数も種類も多く、中々楽しいものです。また、天気が良い日

などには釣りの合間に船の上で昼寝をしたりするのは本当に気持ちが良いです。ゼミ関係者の皆様でも海釣りに興味がある方がいたら是非一緒にやりましょう。基本的に食べられる魚しか狙いませんが、アジ、サバ、カツオやキス、カワハギなどがガンガン釣れると結構面白いですよ。

もう1つの趣味としては、アメリカンフットボール社会人リーグであるXリーグの2部に位置するウォリアーズというチームに所属し、リーグ初優勝をすることができました。今季より副将に就任しており、そんな中、チームとして結果を残せたのは非常に嬉しかった上、個人としてもリーグのベストメンバーに選出していただくなど、これ以上無いと言ってもいい成績でシーズンを終える事ができました。周りの選手たちは皆、当然ながら大学時代の全てをアメフトに打ち込んできた人たちばかりであり、自分のようなゼミ頑張りました、などという人は誰一人いません。がしかし、しっかり練習すればまだまだ選手としても成長でき、周りとも勝負していける事が実感できました。何でもやれば結果が出るものだというのは、仕事もスポーツも同じなのだと改めて思った次第です。



ウォリアーズのチームメイトと（著者は後列中央）

さて、稚拙な文章で徒然なるままに近況を書き連ねてしまい恐縮でしたが、最後に、今年も小野先生ならびに小野ゼミに関係する全ての人のこれまで以上の発展を祈念すると共に、自分もOBの一人として、負けずに飛躍できるように頑張ることを誓い、結びとさせていただきます。